

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 12月 23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470105093		
法人名	医療法人 和同会		
事業所名	グループホーム元宇品		
所在地	広島県広島市南区元宇品26-20 電話 082-255-1239		
自己評価作成日	平成30年11月9日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=3470105093-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年12月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>広島シーサイド病院併設のグループホームで看護師常勤。診察が必要な場合、24時間対応可能。住み慣れた環境で最期を迎えたいという希望があれば看取り介護対応。（過去10名の実績）定期的な外出レク（外食・買物・季節を感じられるイベント…初詣・花見・盆踊り・紅葉狩り）、家族との親睦会を年2回、企画・実施している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>穏やかな瀬戸内海を臨み、同敷地内の併設病院と共に長年地域に根差した施設として、医療・保健・福祉のトータルな視点で利用者や家族の安心安全につながる支援を継続している。地域の季節行事と共に、比治山公園への花見・平和公園へ紅葉狩りなどの外出支援や、恒例の親睦会には多数の家族参加がありマジックショーなど組み込んだ盛況な食事会を催している。常勤看護師の配置や、リハビリ専門スタッフのアドバイスを得ながら福祉用具の適切な対応で、利用者の健全で活動的な日常を送るチームケアに努めている。利用者のペースに合わせながらより良い暮らし方に向けたサポートシステムが整う中、最期までその人らしく過ごせるよう、まごごろを込めたチームアプローチに日々尽力している事業所である。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事務所に掲示し、理念を基に日々のケア内容を計画・実施している。	法人理念を念頭に置き、家庭的な安らぎの中で個々の笑顔溢れる生活を心をこめて支援する方針に基づいた意識統一を図っている。事業所の年間目標に対する職員の意見を意見箱で収集し相談のうえ毎年策定している。申し送り時などで見直しを重ね日々のケアに活かせるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	2ヶ月に1回、運営推進会議を実施。毎年恒例のプリンスホテル広島での盆踊り大会参加や地域ボランティアによる手品・大正琴を披露してもらっている。	日頃の挨拶や会話に加え、職員が町内会の忘年会に参加し交流を深め地域との繋がりを継続している。盛大な地域イベントのホテルでの盆踊り大会にも利用者と共に出かけ一緒に楽しむほか、福祉専門学校や大学から実習生を受け入れ利用者との交流を図り活性化に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザー資格保有者在籍。認知症の介護・暮らし・最期の迎え方などについて運営推進会議などで話し合っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	入居者の動態・ヒヤリハット報告・行事報告・行事予定などを報告し、参加者からの質疑応答に答え、サービスの向上に努めている。議事録は各ユニットの玄関先に置いている。	隔月開催の当会議では、状況や行事報告、インシデント及び事故の再発防止対策など丁寧に説明が行われ、意見交換がなされている。ケア内容について納得の得られる見直しや対応・地域を交えた防災対策の確認などについて話し合い、より良い運営に活かせるよう取り組んでいる。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の日程報告。実施後には報告書を広島市に提出している。また、運営推進会議には毎回地域包括支援センターの職員が参加している。	日頃から相談・手続き・報告などで密に連携し、地域活動や現状把握などの情報交換に努めている。グループホーム交流会に参加し同業者との意見交換や交流にも積極的に加わり、オレンジプランに関する取り組みを更にひろめようとしている。	

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月1回身体抑制廃止推進委員会に出席。グループホーム内で会議内容を報告している。それに基づきホーム内カンファレンスを実施し身体抑制廃止に取り組んでいる。	月毎の身体抑制廃止推進委員会で利用者の自由を奪う事無く、見守りや細やかな様子観察による寄り添うケアへの意識付けを職員間で周知徹底している。ケアカンファレンスで個々のケース検討を行い適正化に向けた定期的な見直しを強化している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	グループホーム内で勉強会を行い虐待防止の理解を深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	グループホーム内で勉強会を行い成年後見制度に関する理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には書面にて説明を行い、納得を得てから同意をもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時に職員が声掛けをし不満・苦情・その他の意見を受け付けている。不満・意見があった際はカンファレンスを開催し早急に改善策を立てている。	面会時や親睦会などで家族からの意見・要望を伺い、迅速な対応を心掛け信頼につながる改善に向けた取り組みに努めている。話しやすい雰囲気や笑顔での対応に努め、家族と話し合う機会を多く持ち、ホーム便りや利用者の近況を担当スタッフが記し送付するなど、良好な関係性を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日のミーティングを実施し意見や要望がいい易い雰囲気を作っている。聞いた意見・要望はミーティングで話し合い反映出来るように配慮している。</p>	<p>日々のミーティング時や業務中に気付きなどを話し合い、日常サイクルでの明るい対応・丁寧な接遇などのブラッシュアップを図っている。食事係・レク係など職員の業務分担を設け、アイデアを出し合いながらより良いケアや職場環境整備に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>向上心を持って働けるように各職員の能力に合った役割(業務分担・係り)を振り分けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修会に参加してもらい出席者にはホーム内で伝達講習を行ってもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>町内のグループホーム交流会や、同一法人内の会議に参加し意見・情報交換を行っている。得た情報を持ち帰り伝達。グループホームのサービス向上に繋がるよう努力している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用申込時点でご本人の見学を勧めている。事前にホーム内を見てもらう事で安心して頂けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用申込の段階からグループホームの特徴や説明を、丁寧に分かりやすくしている。個別の要望にも柔軟に対応出来る事を伝え安心感を持って頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用の段階で本人・家族に必要なサービスがグループホームの外部で考えられる場合、法人内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーに相談し助言を求めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	可能な利用者と一緒に洗濯たたみ・掃除・ゴミ捨て・おやつ作りなどを行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には日々の様子を伝えている。外出行事の声掛け、家族参加型の親睦会も定期的に開催している。玄関先にも外出先・日時・外出者名をプリントアウトし掲示している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族・友人などの面会・外出（外食）・外泊を可能な限り自由に行ってもらっている。家族への年賀状作りも行っている。	個々のメモリアルストーリーやライフスタイルを大切にした旧知の関係性を紡ぎ、日々のケアに組み込みながら支援している。手品や大正琴などのボランティアとの交流も馴染みのふれあいのひと時として喜ばれている。	

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関わりが円滑になるよう食堂の席やレクリエーション等の活動グループ分けに配慮している。状況によって席の配置替えを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	法人内に入院した場合等、面会・お見舞いをしている。必要に応じて電話連絡もしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、家族の意向を確認するため、コミュニケーションが図りやすい環境などの工夫をしている。また、ユニット会議を毎月開催し職員間で情報共有している。	日常生活の中で、さりげない会話・ボディメッセージなどから個々の思いや意向を汲み取り、生活歴を紐解きながら理解した内容を記し職員間で共有している。カンファレンスで随時、状況変化を見極めるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用開始時に過去の生活・家族・仕事・既往歴などを聞き確認している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用開始時に確認しているが流動的で変化しやすいので、その都度カンファレンスなどで状況を確認するように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者毎に担当を決めている。介護計画作成にあたりアセスメントを行い家族の要望を聴き目標を設定している。目標設定の為のケア内容をカンファレンスで話し合っている。3ヶ月毎にモニタリングを実施し家族に意見・要望・満足度を確認している。</p>	<p>担当スタッフが知り得た情報や本人・家族の意向・主治医のサマリーなどを加味しつつニーズに沿った介護計画を作成している。生き生きと暮らす要素を考慮し笑顔の増えるプランへの見直しを三か月毎のモニタリングで行い、家族ほかと協議し確認を重ねている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子はカルテ内の介護の記録。月に1度、介護経過の記録。3ヶ月毎のモニタリングを記録し、職員間で情報共有している。ケアの内容が十分でない場合、その都度カンファレンスで修正し実践面に反映させている。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族の思いを尊重しケアに取り組んでいる。食事や入浴等の日常生活に関する事や、面会の要望・外出・外泊など、出来る範囲で柔軟に対応している。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>行事などのレクリエーション時はボランティアに依頼し手品、音楽（大正琴）を鑑賞してもらった。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>定期的に、かかりつけ医による診察を支援している。日々の健康管理はグループホーム常勤の看護師が行っており利用者の状態を報告している。</p>	<p>法人ドクターを主治医としている利用者がほとんどで、常勤看護師による健康医療の相談や支援が充実する中、急変時・緊急時にも迅速な対応で臨んでいる。服薬管理や感染症予防対策に努め、利用者の体調コントロールや健康維持に日々取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々、利用者の状態をグループホーム常勤の看護師と共有し支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は協力医療機関のグループホーム担当医が主治医や入院先への情報提供を行っている。入院期間中は利用者の容態等の情報が定期的に得られるよう退院時に再利用が可能な状態を確認している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に、本人・家族から重度化した際の要望を聞いている。本人・家族と話し合いリビングウィルの確認を行い今後の方針を決定している。治療希望の場合は入院の支援を、グループホーム内の看取りを希望される場合は十分な説明・同意を得て計画書を作成し看取り介護を実施している。	終末期に向けた指針があり、重度化した場合には、その都度家族ほかとよく話し合い、看取り希望には十分な説明に加え、合意の上計画書を作成し、最期までその人らしく過ごせるよう心のこもった支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに沿って対応するように指導している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害発生時はマニュアルに沿って対応するよう指導している。消防署の協力を得て、年2回、法人全体で避難訓練を実施している。また、グループホーム独自でも年に1回避難訓練を実施している。その様子もグループホーム内に掲示する事で避難誘導の経路・方法について再確認している。	年二回合同避難訓練を実施し、消防署のアドバイスを得ながら様々な災害への対処法や防災意識を深めている。避難ルートの確認や防災・減災について地域住民と話し合い双方の安全確保対策に取り組んでいる。事業所の自主避難訓練や法人での救援備品・水・簡易食のストックなど災害時に備える体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
ととのって					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	グループホーム内の勉強会を実施し日々のケアで実践している。	人生の先輩として利用者を敬い、一人ひとりを尊重した接遇や言葉遣いに心がけている。個々のプライバシーを守り、居室に入る時にはノックをして一声かけるなど礼節をわきまえたケアに努めている。利用者に合わせてペース配分でのケアにも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	閉ざされた質問はせず入居者が選択出来るような声掛けを行っている。自己決定出来ない方に関しては、生活暦や家族・職員の情報を基に検討している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	決められた時間で区切らずその方のペースに合わせ個々の意思を尊重している。また、趣味や習慣など出来る限り希望を取り入れ納得いく生活が送れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日々の整容は声掛け・さりげない見守りなどの支援を行っている。外出時は洋服選びの手伝いを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前にはレクリエーションも兼ね口腔体操を実施。食事は1人ひとりの嗜好が出来る限り取り入れられるようにメニューや食事形態を決めている。食事は3食とも職員が手作りで提供。イベントでは入居者と一緒におやつ作りをする事もある。	三食共職員手作りの栄養価を併せ持つ食事提供で、個々の嗜好を考慮したメニュー・季節を彩る盛り付けなど工夫を凝らしている。手作りでのパースデーケーキをはじめ、美味しく・楽しくをモットーに行事食やおやつ作りなど一緒に楽しむよう、ホテルでの外食行事も含め企画し取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	嚥下の能力・覚醒状態を把握し日々の食事・水分形態を変えている。一定の摂取量が確保出来ない場合は補食としてゼリーをおやつの時間に提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、歯磨き・うがい・義歯洗浄の支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	各居室にトイレを設置。定期的なトイレ誘導・声掛けを行っている。排泄表を用いて排泄の有無の確認をしている。全介助の入居者も可能な方はトイレ誘導しトイレで排泄出来るよう取り組んでいる。	各居室に設備されたトイレでの自然な排泄を促し、誘導や介助に努めている。水分補給やラジオ体操などを心掛け、廊下を歩くなど筋力の低下を防ぎ、福祉用具設置について専門スタッフのアドバイスを得ながら支援している。適切なパッド対応でフォローし自立に向けた取り組みを行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘症の入居者には緩下剤の処方をお願い対応。水分摂取とバランスの取れた食事を提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は週3回（月・水・金）時間帯も午前・午後の2回に分け入居者の状態に合わせている。入浴の苦手な方に対しては声掛け方法やタイミングの工夫・対応する職員を変えるなどしている。また、入浴剤を使用するなど入浴が楽しめるようにしている。	週三回の入浴で、その日の心身状態に合わせた柔軟な支援をしている。ゆっくり寛げるように声掛けやタイミングに留意しリラックスタイムとして職員とのコミュニケーションを交えながら対応している。時には季節の香りを添えたり、入浴後は保湿クリームで肌の状態を整えている。	

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	個別の休息時間を計画し、無理 のない生活が送れるように支援 している。また、明かりや室温調 整などの環境面を整え安眠出来 る工夫をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬は職員が管理。また薬情報フ ァイルを作成。内服変更あれば ミーティングでの申し送り・連 絡ノートに記載し情報共有して いる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ぎせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	洗濯物干し・洗濯物たたみ・掃 除・配膳など能力に応じた手伝 いをしてもらっている。また、 定期的に外出・レクリエーショ ン・散歩に出掛け気分転換を してもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	年間計画を立て外出している。 また、希望時は付き添いで散歩 に出掛けている。また、家族の 協力を得ながら食事会・ホテル での盆踊りなど、外出可能な 利用者が屋外に出掛けられる ように支援している。	目前の海の景色を眺めに出たり 花壇の手入れをするなどの外気 浴をはじめ、季節の折々には、 福祉車両を活用し比治山公園 への花見・平和公園への紅葉 狩りなど外出計画を立て、取 り組んでいる。家族との個別 外出や外食もスペシャルな 誕生日祝いと共に、思い出に 残るひとコマとして大切な時 間になっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	入居者は現金の所持はしてい ない。買物や外食の際には能 力に応じて支払い等を行って もらっている。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>要望があった時に支援している。また、家族に向け毎年、年賀状を出している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節毎にグループホームの飾りつけを変更し季節感が感じられるように配慮。また、照明の明るさ・室温など快適に過ごせるように配慮している。</p>	<p>対面キッチンを備えた機能的で活動しやすい空間づくりや、季節を感じ取れる手作りのクリスマスクラフトなどの飾り付けを施した家庭的な雰囲気のリビングである。空調設備での適温適湿の中、パズルを楽しむ姿や談笑して寛ぐ様子が伺え憩いのスペースとなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>気の合う入居者同士が同テーブルになるように配慮。また、畳や長椅子を設置し思い々に過ごせるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が自宅で使用していた物を持参して頂き出来るだけ自宅の雰囲気に近づけるようにしてもらっている。</p>	<p>各居室にはトイレ・洗面台が設置され、今まで居た家庭の状態に近づけてそれぞれが自由に過ごせるような設えとなっている。たくさんの家族写真を壁に飾り、花や趣味の品々に囲まれ個々が落ち着いて暮らせるよう配慮し、整容も含めた行き届いたケアに取り組んでいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下に手すりを設置。車椅子も十分に移動出来るスペースを確保。脱衣所は滑り止めマットなど入居者が安全に行動できるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>事務所に掲示し、理念を基に日々のケア内容を計画・実施している。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>2ヶ月に1回、運営推進会議を実施。毎年恒例のプリンスホテル広島での盆踊り大会参加や地域ボランティアによる手品・大正琴を披露してもらっている。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>認知症アドバイザー資格保有者在籍。認知症の介護・暮らし・最期の迎え方などについて運営推進会議などで話し合っている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>入居者の動態・ヒヤリット報告・行事報告・行事予定などを報告し、参加者からの質疑応答に答え、サービスの向上に努めている。議事録は各ユニットの玄関先に置いている。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の日程報告。実施後には報告書を広島市に提出している。また、運営推進会議には毎回地域包括支援センターの職員が参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月1回身体抑制廃止推進委員会に出席。グループホーム内で会議内容を報告している。それに基づきホーム内カンファレンスを実施し身体抑制廃止に取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	グループホーム内で勉強会を行い虐待防止の理解を深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	グループホーム内で勉強会を行い成年後見制度に関する理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には書面にて説明を行い、納得を得てから同意をもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時に職員が声掛けをし不満・苦情・その他の意見を受け付けている。不満・意見があった際はカンファレンスを開催し早急に改善策を立てている。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日のミーティングを実施し意見や要望が言い易い雰囲気を作っている。聞いた意見・要望はミーティングで話し合い反映出来るように配慮している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>向上心を持って働けるように各職員の能力に合った役割(業務分担・係り)を振り分けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修会に参加してもらい出席者にはホーム内で伝達講習を行ってもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>町内のグループホーム交流会や、同一法人内の会議に参加し意見・情報交換を行っている。得た情報を持ち帰り伝達。グループホームのサービス向上に繋がるよう努力している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用申込時点でご本人の見学を勧めている。事前にホーム内を見てもらう事で安心して頂けるよう努めている。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用申込の段階からグループホームの特徴や説明を、丁寧に分かりやすくしている。個別の要望にも柔軟に対応出来る事を伝え安心感を持って頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用の段階で本人・家族に必要なサービスがグループホームの外部で考えられる場合、法人内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーに相談し助言を求めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	可能な利用者と一緒に洗濯たたみ・掃除・ゴミ捨て・おやつ作りなどを行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には日々の様子を伝えている。外出行事の声掛け、家族参加型の親睦会も定期的に開催している。玄関先にも外出先・日時・外出者名をプリントアウトし掲示している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族・友人などの面会・外出（外食）・外泊を可能な限り自由に行ってもらっている。家族への年賀状作りも行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者同士の関わりが円滑になるよう食堂の席やレクリエーション等の活動グループ分けに配慮している。状況によって席の配置替えを行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>法人内に入院した場合等、面会・お見舞いを行っている。必要に応じて電話連絡もしている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人、家族の意向を確認するため、コミュニケーションが図りやすい環境などの工夫をしている。また、ユニット会議を毎月開催し職員間で情報共有している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>利用開始時に過去の生活・家族・仕事・既往歴などを聞き確認している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>利用開始時に確認しているが流動的で変化しやすいので、その都度カンファレンスなどで状況を確認するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者毎に担当を決めている。介護計画作成にあたりアセスメントを行い家族の要望を聴き目標を設定している。目標設定の為にケア内容をカンファレンスで話し合っている。3ヶ月毎にモニタリングを実施し家族に意見・要望・満足度を確認している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子はケア内の介護の記録。月に1度、介護経過の記録。3ヶ月毎のモニタリングを記録し、職員間で情報共有している。ケアの内容が十分でない場合、その都度カンファレンスで修正し実践面に反映させている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族の思いを尊重しケアに取り組んでいる。食事や入浴等の日常生活に関する事や、面会の要望・外出・外泊など、出来る範囲で柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>行事などのレクリエーション時はボランティアに依頼し手品、音楽(大正琴)を鑑賞してもらった。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>定期的に、かかりつけ医による診察を支援している。日々の健康管理はグループホーム常勤の看護師が行っており利用者の状態を報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々、利用者の状態をグループホーム常勤の看護師と共有し支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は協力医療機関のグループホーム担当医が主治医や入院先への情報提供を行っている。入院期間中は利用者の容態等の情報が定期的に得られるよう退院時に再利用が可能な状態かを確認している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に、本人・家族から重度化した際の要望を聞いている。本人・家族と話し合いリビングウィルの確認を行い今後の方針を決定している。治療希望の場合は入院の支援を、グループホーム内の看取りを希望される場合は十分な説明・同意を得て計画書を作成し看取り介護を実施している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに沿って対応するように指導している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害発生時はマニュアルに沿って対応するように指導している。消防署の協力を得て、年2回、法人全体で避難訓練を実施している。また、グループホーム独自でも年に1回避難訓練を実施している。その様子もグループホーム内に掲示する事で避難誘導の経路・方法について再確認している。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	グループホーム内の勉強会を実施し日々のケアで実践している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	閉ざされた質問はせず入居者が選択出来るような声掛けを行っている。自己決定出来ない方に関しては、生活暦や家族・職員の情報を基に検討している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	決められた時間で区切らずその方のペースに合わせ個々の意思を尊重している。また、趣味や習慣など出来る限り希望を取り入れ納得いく生活が送れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日々の整容は声掛け・さりげない見守りなどの支援を行っている。外出時は洋服選びの手伝いを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前にはレクリエーションも兼ね口腔体操を実施。食事は1人ひとりの嗜好が出来る限り取り入れられるようにメニューや食事形態を決めている。食事は3食とも職員が手作りで提供。イベントでは入居者と一緒におやつ作りをする事もある。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	嚥下の能力・覚醒状態を把握し日々の食事・水分形態を変えている。一定の摂取量が確保出来ない場合は補食としてゼリーをおやつの時間に提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、歯磨き・うがい・義歯洗浄の支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	各居室にトイレを設置。定期的なトイレ誘導・声掛けを行っている。排泄表を用いて排泄の有無の確認をしている。全介助の入居者も可能な方はトイレ誘導しトイレで排泄出来るよう取り組んでいる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘症の入居者には緩下剤の処方もらい対応。水分摂取とバランスの取れた食事を提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は週3回(月・水・金)時間帯も午前・午後の2回に分け入居者の状態に合わせている。入浴の苦手な方に対しては声掛け方法やタイミングの工夫・対応する職員を変えるなどしている。また、入浴剤を使用するなど入浴が楽しめるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>個別の休息時間を計画し、無理 のない生活が送れるように支援 している。また、明かりや室温 調整などの環境面を整え安眠 出来る工夫をしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬は職員が管理。また薬情報 ファイルを作成。内服変更あれ ばミーティングでの申し送り・ 連絡ノートに記載し情報共有 している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。</p>	<p>洗濯物干し・洗濯物たたみ・ 掃除・配膳など能力に応じた 手伝いをしてもらっている。 また、定期的に外出・クリエ ーション・散歩に出掛け気分 転換をはかっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支援 している。</p>	<p>年間計画を立て外出している。 また、希望時は付き添いで散 歩に出掛けている。また、家 族の協力を得ながら食事会・ ホテルでの盆踊りなど、外出 可能な利用者が屋外の出掛け られるように支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>入居者は現金の所持はしてい ない。買物や外食の際には能 力に応じて支払い等を行って もらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>要望があった時に支援している。また、家族に向け毎年、年賀状を出している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節毎にグループホームの飾りつけを変更し季節感が感じられるように配慮。また、照明の明るさ・室温など快適に過ごせるように配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>気の合う入居者同士が同テーブルになるように配慮。また、畳や長椅子を設置し思い々に過ごせるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が自宅で使用していた物を持参して頂き出来るだけ自宅の雰囲気近づけるようにしてもらっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下に手すりを設置。車椅子も十分に移動出来るスペースを確保。脱衣所は滑り止めマットなど入居者が安全に行動できるよう配慮している。</p>		

V アウトカム項目(ユニット1) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(ユニット2) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム元宇品

作成日 平成31年1月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の家族参加人数が少ない。	参加家族の増加。	運営推進会議の議事を不参加家族宛に郵送。まずはどのような会議を開催しているのか周知する。	2ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。